

馬 橋 小 学 校

知りたい！読みたい！図書館へ行こう！

今の学校図書館

一人一人の興味関心を引き付ける本や調べ学習に必要な本があり、学校教育に欠かせない場所となっている。1週間に1時間、各クラスへの図書館割り当ての時間があり、楽しみにしている児童も多い。また、休み時間も自主的に通っている児童もあり、思い思いの時間を過ごしている。学校司書がいろいろな企画を用意し、児童もすすんで本を読んでいる。

学校図書館の運営

校務分掌の教科・領域部会の中に「国語・図書館」担当があり、学校司書と連携して運営に当たっている。

1年間の主な活動

- ・読書週間を春・秋に実施
- ・図書委員会の行事へのかかわり
- ・図書ボランティアによる活動(月1～2回)
 - ① 感想カード記入者へしおりプレゼント
 - ② 本の紹介と装飾
 - ③ 読書週間中の読み聞かせ
- ・外部団体によるおはなし会



特色ある取組

- ・読んでみよう！(1～6年生)
20冊読んだらしおりプレゼント
- ・先生のおすすめの本
秋の読書週間に合わせて実施
- ・読書週間(春と秋の年2回)
 - 【春】
 - ・図書委員による読書クイズ
 - ・クラスで題名(著者名)しりとり
 - ・おすすめの本紹介
 - 【秋】
 - ・図書委員による
おすすめの本と手書きポップ展示
 - ・ブックランチ(おはなし給食)
- ・図書委員会の行事へのかかわり
運動会や学芸会などへの取り組み

これからの学校図書館

学習における学校図書館の活用については、教科によってもその活用の度合いに大きな差がある。従来から活用が進んでいる教科だけでなく、さまざまな教科・領域で活用を促進していくことが必要である。各教科との連携を強め、「調べ学習」機能の充実を図っていく。また、学年ごとに調べたことを積み上げていくシステムも求められる。

